

大規模災害発生時に対する 備えは充分か？

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市議会第1回定例会は3月14日に閉会しましたが、前号に引き続き、千葉敦議員の一般質問についてお知らせします。

岩手宮城内陸地震、東日本大震災、能登半島地震などの大きな地震や集中豪雨・台風などによる水害が毎年のように発生しています。市では、避難所の備品の備蓄についてその必要量を確保するとともに、市内業者との間で流通備蓄に関して協定を結んでいます。

千葉敦議員は、大規模災害時は市の自力だけでは難しいので、他県も含めた自治体間の相互支援協定が必要ではないかと質しました。

他の自治体と相互支援の

協定締結

倉成市長は「県内の各自治体、北東北地域連携軸推進協議



会の構成自治体及び静岡県掛川市など全国のいくつかの関係自治体と大規模災害時に物資や職員の応援などの協定を締結して備えている」と述べました。

国の交付金を活用すべき

千葉議員は、国の令和6年度補正予算の地方経済生活環境創生交付金の地域防災緊急整備型を活用して、避難所に関する資材機材（トイレトレーラー、キッチンカー、パーテーション等）の導入を進めるべきで、と、質しました。

2次募集時に取り組む

倉成市長

倉成市長は「女性視点などの多様なニーズに対応して、防災対策を検証中であるため、現時点では見送っている。今後の2次募集時に取り組めるように準備している」と述べるにとどまりました。

国の財政支援を求めるべき

千葉敦議員

千葉議員は、避難所等に関する国際基準（スファイア基準）を満たす国のガイドラインを達成するためには、自治体の自力だけでは難しいので、国の責任ある財政支援を求めていくべきだ、と主張しました。

アマチュア無線の活用を！

千葉議員は、大規模災害時、電話等の通信回線が断絶した場合、情報収集の手段としてアマチュア無線を活用してはどうか、と質しました。

倉成市長は「本庁、各総合支所、避難所には、電話等の通信回線が断絶された場合に備え、総合通信が可能な防災行政無線を設置している。現時点において、アマチュア無線を活用した情報の収集及び伝達に取り組んでいない」と述べました。

千葉議員は、（一社）日本アマチュア無線連盟では、災害時の情報のやり取りはボランティアとして行政につなぐと決めており、地域のアマチュア無線団体と協定を結んで情報収集の災害時の担保として進めるべきではと、提案しました。

アマチュア無線搭載車



訪問看護の処遇改善を！

千葉議員は、国は現在、自宅での看取りを推奨しており、在宅医療としての訪問看護は不可欠であり、働きに見合った報酬や待遇の改善が必要では、と質しました。

倉成市長は「国の交付金による物価高騰対策支援では、訪問看護事業所も他の福祉施設等と同じく支援してきた。国は事務作業等で軽減するよう配慮している」と述べました。

4-1 消費税反対 宣伝行動



消費税は減税！

くらしを支える政策を

4月1日は、消費税が多くの国民の反対の中スタートした日です。「消費税廃止胆江地区各界連絡会」は、水沢コープアテルイ前で「4-1 消費税反対宣伝」を行いました。寒い中でしたが、5名の参加で署名も集めました。参加者からは「以前は『消費税は福祉のために使われるから、反対はおかしい』と署名を拒否する人がいたが、今日は、食料品や灯油等の高騰で生活が圧迫されて、消費税減税に理解を示す人が増え、署名が進んだ」との声がありました。